

## 令和元年度 森林環境譲与税の使途公表

市町村名	事業区分	事業名	事業総額(単位:千円)			事業内容	実績
			うち当該年度の森林環境譲与税(千円)	うち基金取崩額(千円)	うち他の財源(千円)		
奄美市	林道・林専道の整備等	林道安念勝線舗装工事	3,783	3,783		0	林道の維持修繕に係る工事 アスファルト舗装430.6m <sup>2</sup> アスカーブエ 86.3m

### ○使途について

森林環境譲与税は、間伐や人材育成・担い手の確保、木材の利用促進や普及啓発などの森林整備及びその促進に関する費用に充てることとします。令和元年度は大雨などで洗掘され通行が困難であった林道の整備を行い、残額については令和2年度の森林環境譲与税事業に使用するため基金に積み立てています。今後も森林環境税創設の旨に沿い、奄美市の現状に適した事業を検討しております。

## 森林環境税・森林環境譲与税とは？（以下、林野庁ホームページより抜粋）

### ○森林環境税の創設

平成31年3月に「森林環境譲与税及び森林環境税に関する法律」が成立しました。これにより、「森林環境税」及び「森林環境譲与税」が創設されました。

### ○森林環境税創設の要旨

森林の有する公益的機能は、地球温暖化防止のみならず、国土の保全や水源の養育、国民に広く恩恵を与えるものであり、適切な森林の整備等を進めていくことは、我が国の国土や国民の生命を守ることにつながる一方で、所有者や境界が分からない森林の増加、担い手の不足等が大きな課題となっています。このような現状の下、平成30年5月に成立した森林経営管理法を踏まえ、パリ協定の枠組みの下における我が国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、森林環境税が創設されました。

### ○森林環境税・森林環境譲与税の仕組み

「森林環境税」は、令和6年度から個人住民税均等割の枠組みを用いて、国税として1人年額1,000円を市町村が賦課徴収することとされています。また、「森林環境譲与税」は、喫緊の課題である森林整備に対応するため、「森林経営管理制度」の導入時期も踏まえ、交付税及び譲与税配付金特別会計における借入金を原資に、令和元年度から譲与が開始され、市町村や都道府県に対して、私有林人工林面積、林業就業者数及び人口による客観的な基準で按分して譲与されているところです。